

折板 屋根下工法

施工実例・お客様の声

施工後は効果大！
来年は工場棟も！！

〇〇精工 株式会社様
建物の用途／倉庫
施工現場／福岡県
施工商品／サーモバリアS
施工面積／710㎡
施工時期／2022年6月
施工日数／6日間

通常、夏場だと庫内の温度が40℃を超える
そうです。6月下旬の午後2時で倉庫内の遮
熱材を施工したところ32℃でした。
(下の写真は施工前、施工後の折板屋根下側
より屋根の温度を計測) 施工後は効果大で
満足いただき、来年は工場棟の遮熱工事を
したいとお声を頂いております。



施工した室内は
明らかに温度が
違いました！

スエナミ工業 株式会社様
建物の用途／工場
施工現場／岐阜県関市
施工面積／642㎡
施工時期／2024年7月
施工期間／10日間

サーモバリアを施工した部屋とサーモバリア
を施工していない所ではサーモグラフィで見
ると大きな温度差があることが分かります。



アルミ製純度99%の遮熱シート

サーモバリア

屋根下 工法

折板屋根・
スレート屋根対応

Under The Roof method of construction

スレート 屋根下工法

施工実例・お客様の声

エアコンの効きも違う
と大絶賛！「もっと早く
知りたかった」

家具のフクタケ様
建物の用途／高級家具店
施工現場／岐阜県各務原市
施工商品／サーモバリアS
施工面積／482㎡
施工時期／2024年7月
施工期間／7日間

6月24日から施工がはじまりましたが、初
日で何かが違う気がする。2、3日目にすこ
いエアコンが効いている。涼しくなって
いる。こもった熱がない。4日目、1階の玄関、
フロアがエアコンかけなくても良くなった。

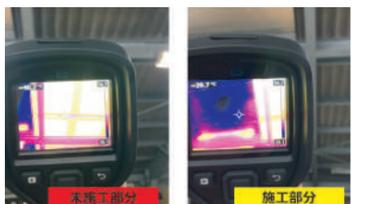
一番上の階が非常に天井に近くて、夏場は
暑くて上がれないのですが、今年は上がれ
そうです。快適で最高〜よかった〜もっと
早く知りたかった〜頼んで良かったと店
主・奥様から大絶賛です。



作業環境の改善プラス
品質劣化を防ぐために
導入

寿酒販配送センター様
建物の用途／酒類倉庫
施工現場／愛知県豊橋市
施工商品／サーモバリアS
施工面積／335㎡
施工時期／2022年6月
施工期間／4日間

夏のピーク時の倉庫内温度は40℃以上にな
る日が多かったが、サーモバリアを施工し
て非常に涼しくなりました。例年と比べ5℃
〜7℃以上温度が下がったように感じます。



屋根からの熱対策

夏の暑さを軽減！

冬は保温効果を発揮！



【取扱店】



株式会社ライフテック

〒509-0135

岐阜県各務原市鵜沼羽場町8丁目132-1

TEL.058-385-0334 FAX.058-385-3286

<https://www.e-lifetech.com/>



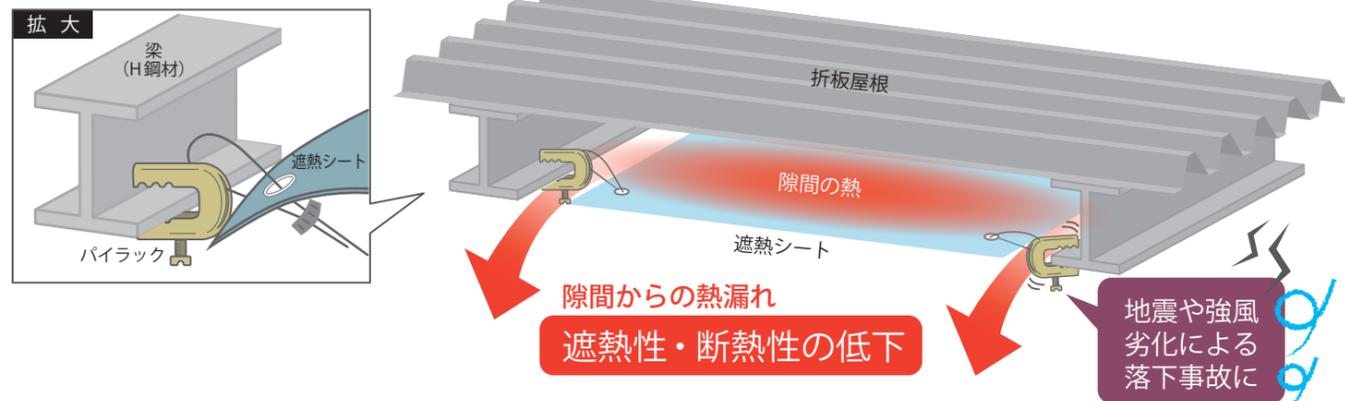
夏の折板屋根の温度は、70~80°Cになります

屋根からの輻射熱により建物の中が暑くなるのです

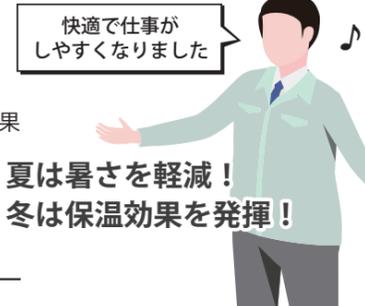
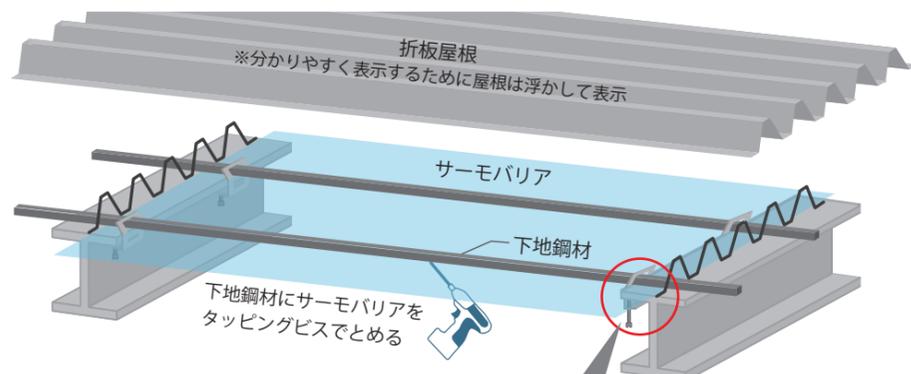
熱は高い方から低い方へ移動します。従って、高温の屋根の熱が人体へ移動し暑く感じます。輻射熱は360度どの方向へも移動します。

一般的な折板屋根下工法の問題点とは？

一般的な折板屋根下工法ではパイラックと呼ばれる金具を梁（H鋼材）に固定し、パイラックに結束バンドやワイヤーを使って、遮熱シートを取り付ける方法を採用しています。しかし、この方法では安全性や耐久性に問題が発生する可能性があります。例えば、地震や強風によってパイラックの固定が緩み、パイラックや遮熱シートが落下し、人や機械に危害を及ぼす可能性が考えられます。また工法上、折板屋根と遮熱シートの間に隙間が発生し、熱漏れにより遮熱性及び断熱性が低下することも懸念されます。



問題を解決する (株)ライフテック独自の折板屋根下工法



折板屋根下工法

折板屋根から放射される輻射熱を内側のサーモバリアが反射することにより、輻射熱の影響を大きく軽減します。これにより体感温度が低くなる効果があります。

施工方法

折板屋根の下に軽量鉄骨で下地を組み、その下にサーモバリア（不燃認定品）をタッピングビスで軽量鉄骨の下地に取付けます。※高所作業もしくは作業用足場の設置が条件となります。



1 梁の上にタイトフレームがあることを確認

折板屋根を下から見た現状です



2 下地鋼材を約1mピッチに取り付けます

梁上のタイトフレームに通すようにして下地鋼材を取り付けます



3 下地鋼材をオリジナル固定クランプで固定する

オリジナル固定クランプのボルトをしめて、しっかり固定します



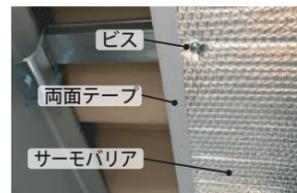
4 折板屋根下にサーモバリアを広げる

折板屋根下にロール状のサーモバリアを広げます



5 サーマバリアを下地鋼材にタッピングビスで取り付け

タッピングビスでしっかり固定することによりシートの落下を防ぎます



6 ジョイントを両面テープで固定

サーモバリア同士を30mm重ねて両面テープで接着



7 シートの重ね部分に専用アルミテープを貼る

重ね部分に専用アルミテープを貼り、しっかりと圧着させます。隙間の無い状態を作り遮熱効果を高めます



↑ 特徴・取り付け方の詳細はこちらの動画をご覧ください

※天井を設ける場合は、天井上部（サーモバリアの下位置）に断熱材を施工するとより効果的です

スレート屋根下工法

スレート屋根からの暑さを軽減する工法です。スレート屋根の下にサーモバリアを取り付け、屋根からの輻射熱を大幅にカットします。

施工方法



1 高所作業車が入れるスペースを確保

天井に施工するため、高所作業車または作業用足場が必要になります



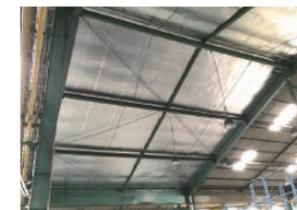
2 屋根の長さを測量

屋根の長さに合わせてサーモバリアをカットします。カットしたサーモバリアをスレート屋根の母屋にタッピングビスで止めていきます



3 サーマバリアを順番に貼っていきます

サーモバリア同士を30mm重ねて両面テープで接着し、更に専用アルミテープで隙間を塞ぎます



4 完成

サーモバリアを貼った部分と貼っていない分では輻射熱の影響が違います

折板屋根下工法
スレート屋根下工法

使用商品のご紹介

サーモバリア-S

遮熱+断熱シート

エアークラップに両面アルミ箔を貼った断熱性と高反射性をあわせつつオールマイティタイプ。あらゆる部位に使用が可能で、内反射施工も可能です。

国土交通省 不燃認定NM-2805

サイズ T=4mm W=1.2m L=40m (48㎡)

価格 1本 オープン価格

7層構造

アルミニウム

アルミニウム

ポリエチレン

ポリエチレンテレフタレート (PET)

パブルポリエチレン

専用アルミテープ

サイズ W=50mm L=50m

価格 1本 オープン価格